



どのような未来を目指すための事業か

災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

電線を地中化して 電柱を撤去します

地元の声

・災害時におけるライフラインを確保して欲しい。（地元住民）

事業前

- ◆ 電柱があるため、災害時に電柱が倒壊し、道路が寸断されるおそれがあります。



事業前の状況

事業後

- ◆ 道路上の電柱が無くなり、災害時の安全な通行が確保されます。



事業後のイメージ（一例）

事業の概要

- 事業箇所：伊勢崎市本町～東本町
- 事業内容：電線共同溝整備延長 1,800m
- 事業期間：平成30年度～



事業の進捗状況（令和6年3月末現在）



今、何をしているか

令和6年度は電線共同溝の本体工事に支障となる物件の移設等を行います。



現在の状況

事業のすすみ具合

事業開始 ● [Progress bar] ● 事業完了